



令和3年6月30日  
横浜市立平戸小学校  
〒244-0803  
横浜市戸塚区平戸町542番地  
TEL045-821-2329

校長 菅原 久忠

毎朝、環境委員会（5、6年生の委員会活動の一つ）の子どもたちが、正門や西門の近くに立ち、あいさつ運動の取組をしています。手づくりのメッセージカードを胸元に掲げながら、登校してくる子どもたちに笑顔で「おはようございます。」と声をかけています。声をかけられた子どもたちだけでなく、声をかけた委員会の子どもの嬉しそうな表情が印象的でした。

あいさつ運動の取組を見ていて、以前、研修で聞いたディズニーランドの話思い出しました。

ディズニーランドの理念は「Give Happiness」（幸せの提供）と伺いました。これを実現するために、ディズニーランドで働く「キャスト」には、3つの約束があるとのことでした。

- |   |        |  |
|---|--------|--|
| 1 | ごみを拾おう | Give your a step for picking up trash ahead. |
| 2 | 写真を撮ろう | Give your one finger for taking pictures.    |
| 3 | 案内をしよう | Give your a call for your happiness.         |

ごみを拾っても、写真を撮ってあげても、ゲストから「ありがとう」と言われ、この「ありがとう」が、ディズニーの理念「Give Happiness」につながるというのです。そして、そのために、キャストとゲストの「相互ありがとう」の場を創造しているとのことでした。ゲストに幸せを提供することが、あなた（キャスト）の「幸せ」にもなるというのです。ですから、約束の3つめが「あなたの幸せのために」となっているのかもしれない。

多くの子どもたちが一緒に生活するところが学校です。子どもたちが「自分以外の人」を意識し、ちょっとした心遣いをして生活することができれば、学校が誰にとっても気持ちのよい場所になります。たとえば、異学年交流の「たてわり活動」で、年上の子どもたちが、年下の子どもたちのことを考える場面、休み時間の遊び方で、お互いにゆずり合う場面など、子どもたちにとって、「自分以外の人」のことを意識する機会がたくさんあります。

「人が喜んでくれること」が「私自身も嬉しい」と子どもたちが思える機会が増えると、生活がより楽しく豊かなものになると思います。「あいさつをした後に『おはよう』って返してくれると、とても嬉しいです。」と言った委員会の子どもの言葉が心に残りました。